

第3回 大人の音楽室テーマ

知ってる人は知っている コントラバス業界の大スター
『ボッテジーニ』について

講師 榎原 利修・祐子夫妻

ボッテジーニ：エレジー(大人の音楽室で演奏)

開場12周年記念コンサート

<演奏予定曲>

パッショネ・アモローサ (ボッテジーニ)
コントラバス：沼野仁美・榎原利修

五月の村、風の通り道 (久石譲)

千尋のワルツ (久石譲)

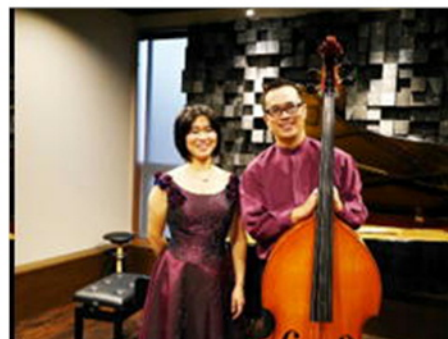
小さなワルツ (クーセヴィツキー)

テネシーワルツ (P.W.キング)

子犬のワルツ (ショパン) ピアノ独奏

ワルツ (ドヴォジャーク)

山寺の和尚さん (服部良一)



講師

榎原 利修 コントラバス奏者

セントラル愛知交響楽団楽団長

榎原 祐子 ピアノ奏者

プラハ芸術アカデミー研究科修了

名古屋音楽大学講師

榎原 利修

セントラル愛知交響楽団コントラバス奏者として活動中です。オーケストラの活動の他にはプラジャーク弦楽四重奏団、チェコ・フィル元コンサートマスターのフランチェク・ホスト(チェロ)氏といったチェコの演奏家との共演の他、アコーディオン奏者アンジェロ・アキリーニ氏主宰のトリオ、ベース奏者・鳥越啓介氏とのデュオコンサートなどジャンルを超えた多数のアーティストとの共演をしています。コントラバス四重奏団『Bass4』などでも活動しています。

榎原 祐子

ピアノソロレパートリーは、バロックから近現代に至るまでの代表的なものがベースとなっていますが、得意としている作品はヨーロッパでの長期滞在中に最も演奏オフアーの多かったチェコの作曲家スメタナ、ヤナーチェク、マルチヌーの作品、日本の作曲家 伊福部昭、林光、萩京子、中島克磨の作品です。この他、森での野外ライブなどのイベントではポップスや映画音楽などのジャンルの作品も演奏します。

<ピアノ伴奏、アンサンブル>

私の得意分野です。弦楽器や声楽などとの豊富な共演経験をいかして共演者と感覚を共有し、融合する音色で、共演者が存分にベストを尽くしていただけるような演奏を目指しています。



ゲスト

沼野仁美 (コントラバス)

12歳より中学校のオーケストラ部にてコントラバスを始める。愛知県立明和高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科コントラバス専攻卒業。第30回日本クラシック音楽コンクール全国大会コントラバス部門高校の部第4位(最高位)。大学入学時から毎年地元愛知県での自主企画を行っている。これまでに長坂裕美、榎原利修、吉田秀、池松宏、石川滋、赤池光治の各氏に師事。2025年9月より兵庫芸術文化センター管弦楽団所属予定。

